

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファミリーサポートひるがおデイサービスセンター		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者のニーズに合わせた送迎(時間等)を行っている。	契約時や家族支援時に、保護者にニーズや要望を聞き、柔軟な対応を行っている。	出来る範囲内の対応を行っていく。
2	定期的に、日々の様子を写真で撮り、アルバムにして年度末に保護者に渡している。	普段の表情や様子を、写真におさめている。	日々の活動内容をより多く、写真におさめていく。
3	おやつ作りやお買い物支援等、充実したプログラムや個々の特性に合わせた個別活動を行っている。	固定されたプログラムの内容を、利用者のニーズや状況等に応じて計画している。	個々の特性に合わせた、支援の充実を図り提供していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了後の振り返りが、その日に出来ていない。	職員全員が送迎に出てしまう為、その日の振り返りを当日に行う事が難しい。	翌日の支援開始前に前日の振り返りを行うようにしている。
2	父母の会の活動や支援、保護者同士の交流の機会が設けていない。	検討した事はあるが、開催には至らなかった。	職員で意見を出し合い、検討していく。
3	静養室はあるが、ドアの開閉の際に指を挟む等のリスクがある為、ドアを外した。 その為、静養室としての環境が整っていない。	ドアや扉での仕切りがない為、常に解放した状態になっている。	カーテン等での仕切りを作り、静養室として使用出来るように整備し、環境を整えていく。